「地域子育て支援拠点」を利用しよう！

地域子育て支援拠点は、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としています。
では、今回、地域子育て支援拠点のことについて、どんなところなのか、どんなことをしているのかなど、「ニャオざね」、「くま博士」と一緒に見ていきましょう。

◆こども課 ☎内線292

「地域子育て支援拠点」ってな～に？

ニャオざね 「地域子育て支援拠点」？聞いたことがないにゃ・・・にゃんのこと？

博士 近年、少子化や核家族化が進行しとることは知っとるじゃろう？そのため、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化していく中で、家族や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大が生じているのじゃ・・・。

そこで、そういう親子のために、地域に子育て支援をする拠点が必要だと考えたのじゃ。ほら、以前から「子育て支援センター」ってのがあったじゃろう。それじゃよ。言い方が変わって、今は「地域子育て支援拠点」と呼んでいるのじゃよ。

どんなことをしているの？

ニャオざね 「子育て支援センター」なら知ってたよ。にゃ～んだ！呼び名が変わったのかぁ・・。ところで、どんなことをしているのかにゃあ？

博士 子育て広場〝なかよし〟では、「とんとんとんとんひげじいさん」と歌いながらの手遊び、紙芝居や絵本の読み聞かせ、それと、えっ～と・・そう「ポニョ」や「アンパンマン」の歌にあわせて踊ったりもする。ルンルン・・・おっと！わしとしたことが踊りだしてしまった・・・ごほん！

あっ、そうだ！誕生会もやっておるぞ。誕生会には、誕生日の子の手型や足型を採ったり、先生方が劇やミュージックベルで演奏し祝ってくれる。中でも手作りのアンパンマンの劇は最高で、子どもたちに大好評じゃった。その他、季節に合わせて、七夕（たなばた）、運動会、クリスマス会等親子で楽しめるイベントがもりだくさん。木のぬくもりがあり、広くてきれい、床暖房付じゃ。おもしろいのが手作りおもちゃ、そして、頭の上には空中遊具。これがなかなか人気がある。もちろん、子育てが心配なママには、いつでもやさしいスタッフが相談にのってくれるぞ。

なかよし

くま博士

ニャオざね

©熊谷市

だれでも利用できるの？

ニャオざね にゃんだか楽しそうだにゃあ。ニャオざねも行ってみたくなったにゃ。だれが行ってもいいのかにゃ？

博士 おおむね3歳未満の子どもとその保護者ならいつでも誰でも利用できる。パパやおばあちゃん・おじいちゃんが来てることもある。ボランティアも大歓迎じゃ！

〝なかよし〟には、保育士・看護師のたまごの人や歌のボランティアさんたち、そして、夏休みは、児童クラブのおにいちゃんおねえちゃんが一緒に歌ったり踊ったり、お手伝いもしてくれる。これがまた微笑（ほほえ）ましいのじゃ・・・。

どこにあるの？

ニャオざね ところで、どこにあるのかにゃ？

博士 市内に、14箇所の子育て支援拠点がある。市直営が3箇所、民間が11箇所、一覧表にしてあるから見てくれ。

ニャオざね 14箇所も子育て支援拠点施設があるとは知らなかったにゃ！保育園の中にもあるのかぁ・・・。それと、妻沼児童館に大里保健センター、大麻生公民館内、いろとりどりだにゃあ。どこに行ったらいいか迷っちゃうにゃ。

博士 順番に全部行ってみればよいのじゃ。遊具やおもちゃも違うし、地域にあったイベントなど、それぞれ工夫してやってくれているのじゃ。子育て広場〝のびのび〟は、建物は古くて「レトロ」…畳でゆっくりくつろげ、な～んと新幹線まで見える。スタッフが新幹線の通る時刻を調べ時刻表なるものが貼ってある。時間がくると男の子たちは窓に顔をくっつけて見ているぞ。

のびのび

ニャオざね へぇ！ニャオざねも新幹線大好きだにゃあ。

博士 新幹線・車などのおもちゃの乗り物が多いのは、子育て広場〝にこにこ〟、子どもたちは乗って走りまわっている。『ここに来ると、午後はよく寝てくれ助かる。』というママも多い。ハイハイする子にはちっちゃいおもちゃがたくさん。ガラス張りで明るいし、テーブルや椅子もあり、まるくなっておしゃべりしながらお昼を食べていく親子もいるぞ。

にこにこ

ニャオざね へぇ・・いいにゃぁ！なんだかニャオざねもお腹すいてきた。好物の月見うどんが食べたくなってきたにゃあ。

博士 ニャオざね、月見うどん食べたら、早速行って見たらどうじゃ？

ニャオざね そうするにゃあ。子どもたちの笑顔はかわいいぞ！行ったら元気百倍、笑顔になれるぞ！

ニャオざね 元気百倍、笑顔かぁ！ニャオざねも子どもたちと遊んで笑顔になってくるにゃ。

支援拠点の名称	設置主体	所在地	開設日、開設時間	電話	
子育て支援センター すずかけ	第三なでしこ保育園	円光 2-10-10	月～金曜日 9：30 ～ 15：30	048-520-1518	子育ては大変！でも楽しい方法や解決方法を一緒に探しませんか？
ことぶき花ノ木 地域子育て支援センター	ことぶき花ノ木保育園	三ヶ尻 1817	月～金曜日 9：00 ～ 14：00	048-531-0344	たくさんのお友だちやお母さんたちと楽しい時間を一緒に過ごしませんか？
子育て交流会「くるみの木」	くるみ保育園	平戸 1090	月～土曜日（土曜日は月1～2回） 8：30 ～ 13：30	048-522-2059	手遊び・リズム講座・ミニ学習会など季節に合わせ楽しく遊んでいます。
もちもちの木	第二くるみ保育園	今井 1136	月～土曜日（火・土曜日は変則的） 8：30 ～ 13：30	048-524-8181	
ほしのこひろば	ほしのみや保育園	池上 576-1	月～金曜日 9：00 ～ 14：00	048-524-9876	身近な話題でお母さん同士お友だちになりませんか。
新里第２保育園 子育て支援センター	新里第２保育園	筑波 3-202 ティアラ21４階	月～金曜日 9：00 ～ 16：00	048-599-0022	
ゆかり保育園 地域子育て支援センター	ゆかり保育園	三本 1557	月～金曜日 9：00 ～ 14：00	048-536-8597	曜日ごと、年齢別に親子で安心して遊べる場をみなさんに提供しています。
たじまっ子倶楽部	第二田島保育園	上根 432-1	月～金曜日 10：00 ～ 15：00	048-588-3411	
わらしべの里 子育てひろばポラン	わらしべの里共同保育所	善ヶ島 1774	月～金曜日 10：00 ～ 15：00	048-588-7970	月１～３回、保護者および親子向けのセミナーをやっています。
篭原のこキッズ 子育て支援センター	篭原のこキッズ保育園	籠原南 1-133	月～金曜日 9：30 ～ 14：30	048-531-3901	
子育て広場「なかよし」	熊谷市	弥藤吾 692-1（妻沼児童館）	月～金曜日 9：30 ～ 15：00	048-589-1715	発達段階に合わせて活動日を設けています。比較的小さい子向きのセンターです。
子育て支援センター パーシモン	なでしこ保育園	柿沼 921-9	月～金曜日 9：30 ～ 15：30	048-501-0018	
子育て広場「にこにこ」	熊谷市	向谷 373-1（大里保健センター）	月・火・金曜日（原則として） 10：00 ～ 13：00	0493-39-1116	ホールや園庭で、子どもと一緒に思いっきりリズム遊びや体を動かして遊びましょう。
子育て広場「のびのび」	熊谷市	大麻生 1010（大麻生公民館）	火・水・木曜日（原則として） 10：00 ～ 13：00	048-532-3519	たたみの部屋でゆっくりくつろげます。赤ちゃん大歓迎。

保育園児との交流、園生活や給食のプチ体験等、楽しいメニューがいっぱいです。

親子と関わりながら、子育ての情報や遊びの提案をします。

自然いっぱいで砂場もあります。園のお友だちとも遊びます。

毎月一回お誕生会があります。気軽に遊びに来てくださいね。

おもちゃもたくさんあるよ！体操・工作など楽しいイベントもあります！

■子育て情報をメールでお知らせします。熊谷市メール配信サービス「メルくま」

コード

Photo news フォトニュース

11月5日 ラグビー日本代表が熊谷西小学校を訪問

ラグビー日本代表の選手とスタッフが、熊谷西小学校を訪問し、6年生児童と「ふれあい授業」を行いました。パスゲーム、コンタクト体験など、代表選手の楽しい指導で大いに盛り上がり、児童たちにとっては素晴らしい思い出となったことでしょう。

11月11日 立正大学硬式野球部市長に優勝報告

平成21年度東都大学野球連盟秋季1部リーグ戦で、創部61年目で初優勝を果たした立正大学硬式野球部の伊藤 由紀夫監督(前列左)はじめ選手の皆さんが、市長に喜びの優勝報告をしました。

11月3日 第8回オ・ドーレなおざね

今年も、車両通行止となった国道17号とコミュニティひろばで開催され、市内外からたくさんのチームが参加し、見事なダンスパフォーマンスを披露しました。

11月10日 野口 章選手(射撃)市長に優勝報告

写真左から、間庭崇熊谷市射撃協会名誉会長、野口さん、富岡市長、山口茂熊谷市射撃協会会長

新潟県で開催されたトキめき新潟国体で、クレー射撃団体に出場し見事に優勝を果たした野口章選手が、市長に喜びの優勝報告をしました。

11月3日 東日本実業団対抗駅伝競走大会

市内の国道17号、さいたま博通りのコースを、襷(たすき)をつないだ選手たちが、沿道の観衆の声援を受け、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場のゴールに向かい駆け抜けました。

10月31日 まちなか自転車フェスタ

熊谷市中心市街地の自転車道等社会実験中に、まちなかのCO2を減らす試みとして、電動アシスト付自転車の試乗など、自転車でのエコライフを提案する催しが行われました。

11月6日 公園遊具ボランティア塗装

熊谷団地内の公園で、埼玉県塗装看板業協同組合熊谷支部の皆さんによって、遊具のボランティア塗装が行われました。

10月24日 リサイクルフェア

環境美化センターで行われた恒例のイベントでは、家具・自転車・本・ジーンズなどのリサイクル品が激安販売されるとあって、会場は訪れた人々で大いに盛り上がりました。

10月25日 SLの清掃奉仕活動

荒川公園に設置されている、蒸気機関車(SL)とその周辺の清掃が、鉄道OB会の皆さんによって行われました。

10月18日・19日 妻沼聖天山秋季例大祭

妻沼聖天山の秋季例大祭が行われ、多くの参拝者が訪れました。18日には、大師堂の南で奉納剣道大会が催されました。

10月27日 防犯のまちづくり街頭キャンペーン

熊谷駅コンコースで、防犯のまちづくり街頭キャンペーンが行われ、出席した市長が啓発グッズを配布しました。

10月25日 第3回こうなん祭り

江南総合文化会館ピピア駐車場で、郷土芸能の実演やたくさんの模擬店が出店され、多くの来場者で賑(にぎ)わいました。

おたよりパレット

テーマ **秋の夜長**

秋は年間を通して、とても過ごしやすい季節。そんな秋の夜は、それぞれの楽しみに没頭し、有意義に過ごしたいものですね。

※おたよりパレットは、市ホームページ http://www.city.kumagaya.lg.jp/ でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ10月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 好きな音楽を聞きながら、パッチワークや編物をしています。 (30代・女性)
- 定年退職して10年。秋の夜長の楽しみは、庭の虫の声を聞きながら、毎日飲む一合の酒なり。明日も元気にいこう！という気持ちになります。 (60代・男性)
- 大家族だったあの頃、祖母が銀杏(ぎんなん)や栗を焼いてくれました。あまり明るくない部屋でしたが、心の中は温かかったのを覚えています。 (50代・女性)
- めっきり涼しくなって、少し運動をしようとウォーキングを始めました。夕方になると寒いときもあり、ちょっと億劫(おっくう)になりますが、歩いてみると虫の声や月がきれいなのでとてもいい気分になります。 (20代・女性)
- 図書館で借りてきた本と、パソコンに夢中。一番いい時期ですね。 (50代・女性)
- 読書をしたり、テレビを見たり、ゆっくりと過ごしたい！しかし、現実は子どもふたりがにぎやかに走りまわっています。これがわが家の現状。いつかは静かな夜長になるのかな。 (30代・女性)

読んで当てよう 市報クイズ

次の［　　］に入ることばを、それぞれお答えください。

①地域子育て［　　］拠点は、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としています。

②12月は「地球［　　］防止月間」です。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「年越し」についてのコメントを必ず記入のうえ、12月24日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。

※コメントがないものは無効となります。

《応募先》

〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課

kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただこうという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

10月号の正解 ①メルくま ②福祉

◆応募総数55通中、正解48通

今月号の問題

今月のプレゼント

額縁と画材の専門店 アルス画房ご提供の、**卓上ミラーフレーム**を、正解者の中から抽選で**10人**に差し上げます。

額縁と画材の専門店 アルス画房

住所:鎌倉町152

電話:048-521-2112

今月のテーマ、「年越し」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。
詳しくは、広報広聴課 TEL 内線212までお問合せください。

情熱世代 夢追い人

熊谷そば打ち愛好会 会長
中村 正純 さん（上之）

真心を込めたそばで、人々を笑顔に

伝統の食文化を広めたい

日本の食文化をここ熊谷から発信したい。その思いから7年前に、そば打ち愛好会を設立しました。会社勤めをしていたころから、営業まわりで昼食はそば屋に入ることが多かったので、気づけば無類のそば通になっていました。そして、自分で美味しいそばを作ってみよう！と考えていたものですから、定年退職後に早速、そば打ち仲間を募ったのです。初めは各公民館や市役所にポスターを貼らせてもらい、集まった仲間たちで加須市内のそば道場に入門し、一からそば作りを学びました。今では自分たちで上川上の空き店舗を借り、そば打ち道場の看板を掲げて、そば打ちに力を入れています。本物の味を追求するためには、手間も暇も惜しみません。手打ちそばを覚えてからは、完全にその味にはまり、そばの香り、歯ごたえ、のどごしなど本物を味わう楽しみに浸っています。

そばを打つ中村さんと会員の皆さん

そばをふるまう喜び

私たちの活動は、月に8回の例会が主ですが、その他に公民館10か所で講習会を開いたり、産業祭などの地域のイベントに参加したりしています。こういった機会に、集まったそば好きの仲間同士で、お互いの打ったそばを褒め合うのも、楽しみのひとつです。初めはブツブツと切れてしまう麺もだんだんと太さがそろい、切れない丈夫な麺が作れるようになるのです。私もそば打ちが上達するにしたがって、皆さんにふるまうようになり、「美味しい」と言ってもらえる喜びを感じるようになりました。誠意や真心のこもったそばをプレゼントし、それに対して満足してもらえると、本当にやりがいを感じます。

打ちたて茹でたてのそば

そば打ちを通して社会貢献を

私たちはデイサービスなどでボランティア活動として、そば作りを行っています。お年寄りたちの前でそばを打って見せたり、一緒に切る作業をしたりして参加してもらうのです。丹精込めて作ったそばをふるまい、笑顔になってもらえるのは、何よりも喜ばしいことです。

これからは、そば打ちを通してより社会に貢献していきたいと考えています。そのためには活動できる場所をもっと広げ、ぜひ、若者たちにもそば打ちを体験してもらいたいです。皆さんも私たちと一緒にそば打ちの楽しみを共有し、その魅力に浸ってみませんか。

カラダを動かし すっきり健康

筋力アップで腰痛予防

腰は文字通り「要」あり、姿勢の保持をするための大切な部分です。ただし、日常動作では動かすことが少なく、普段の姿勢が悪かったり筋力の低下や背部の柔軟性の低下により、腰にかかる負担が大きくなります。

腹筋・背筋の強化や腰から太ももの裏にかけての筋肉を柔らかくし、腰に負担のかかりにくいカラダづくりをしましょう！

注：腰痛は筋力低下以外の原因が多いので、痛みがひどい場合は病院で受診をしてから運動を行ってください。

健康運動指導士　山北 修次

座ってできる簡単ストレッチ　骨盤の前屈・後屈ストレッチ

椅子に座り、腰に手を当てます。

はじめに、おへそを覗きこむようにゆっくりと腰を丸めていきます。

息を吐きながらゆっくりと丸めていきましょう！

●・・・おへその位置

次に、ゆっくりと体を起こし、反対に胸を張り、腰を前に反らします。

息を吸いながらゆっくりと胸を張りましょう！

ゆっくり 10 回繰り返しましょう

エクササイズガイド

・「痛みがある」「痛みが出た」方は無理に行わないようにしましょう。
・がんばり過ぎず「気持ちいい」と思うくらいがベストです。
・まずは、空いている時間を使って、“気楽に”行いましょう！

・「もっと運動したい」という方は、熊谷健康スポーツセンター（津田 1788-1 TEL 0493-39-5511）、熊谷さくら運動公園（小島 157-1 TEL 048-533-9100）等のトレーニングルームでも専門指導員のアドバイスが受けられます。

◆健康づくり課 TEL 048-528-0601

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター！出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/

人口と世帯　●平成 21 年 11 月 1 日現在（対前月比）

■人口　206,185 人（+84）　男　103,113 人（+26）　女　103,072 人（+58）
■世帯　81,701（+88）

「市報くまがや」は、毎月 1 日（原則）に発行します。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日　平成 21 年 12 月 1 日
●発行　熊谷市　●編集　広報広聴課
〒 360-8601　熊谷市宮町二丁目 47 番地 1
TEL 048-524-1111（内線 206）
FAX 048-520-2870